

## 歴史まちづくり活動 概要シート

ブロック名	建築士会名	支部(地域会)名			
中四国ブロック	広島県建築士会	呉地区支部			
活動団体名①		代表者連絡先			
		住所	呉市幸町3-1		
		TEL	0823-21-2414		
活動団体代表者名		FAX	0823-21-2514		
一般財団法人 呉YWCA		E-mail	<a href="mailto:krywca@joy.ocn.ne.jp">krywca@joy.ocn.ne.jp</a>		
活動名	呉YWCA建物保全活用				
活動概要					
<p>呉YWCAの建物は旧呉海軍工廠の第2門に面し、第2門からの進入道路及び鉄道、河川に囲まれた三角地に立地している木造2階建ての旧海軍施設で、被服倉庫として利用されたこととなっているが詳細は不明。呉市街は終戦直前に数度戦災を受けたが、この建築物は戦災を免れ当時の姿をそのまま残している。戦後、英連邦の進駐軍施設として利用されていたが、その後民間団体である呉YWCAが払い下げを受けて現在に至っている。戦前から残る呉市のランドマークとしての位置付けはもちろんのこと、戦後の女性の社会活動を象徴する施設ともなっている。</p> <p>現在は呉YWCAの活動拠点として、同団体が主催する各種教室や、貸室等の用途で利用されているが、今後も利用を継続する場合は構造補強などの改修が不可欠であるため、現行法規に照らし合わせた上で、極力外構等の現状を維持出来るような改修を検討する必要がある。昨年度、建築士会、東京大学、呉高専で協力し現地調査から着手した。</p> <p>戦後払い下げを受けてから後、経済的な理由もあり、今日に至るまで部分的補修にとどまり、また外壁についてはまったく補修されていないなど、建物の経年劣化によるダメージがとて大きい。また、払い下げ直後に1階ホール中央にあった柱5本が撤去されているため、構造的に不安定になっている。</p> <p>今年度は調査解析と並行して、法的問題点の検討、所有者の呉YWCAの意向の聞き取り調査を行っており、今後、経済的な面を勘案しながら安全に使用できるような改修を進めていけるよう、検討をすすめる。</p> <p>所有者の呉YWCAには会員の高齢化と減少の問題もあり、建物の存続だけでなく、地域の中での役割の見直しも含め、活用方法の検討も併せて行う必要がある。</p>					
活動の起因 (きっかけ)	呉地区支部まちづくり委員会が呉YWCAからの要請を受けて防災啓発講座を開催していたところ、建物保全についての相談を受けるようになった。				
地域貢献度	○				
	大変貢献している	少し貢献している	どちらともいえない	余り貢献していない	殆ど貢献していない
活動団体②	(主たる活動団体)		(協力活動団体)		
	建築士会、東京大学(腰原研究室)		村松研究室) 呉工業高等専門学校		
建築士会関係度 (建築士会単独=100%)	100~80%	80~60%	○	60~40%	40~20%
				20~0%	
その他 (展望・課題)	維持補修工事を行うにあたり、必要な資金を集める工夫と、長期的に安定した活動を継続していくためのサポーターを確保する事が今後重要な課題となっている。				

※地域貢献度・建築士会関係度は独自の判断で結構です。(該当箇所印)

- ・上段の活動団体名①は、建築士会名ではない活動専用の名称がある場合の名称です。
- ・下段の活動団体②は、主に活動している組織名と、共に実践している協力組織がある場合にはその名称をご記入ください。
- ・1案件につき本シート1枚で整理して頂けます様お願いします。